

第56回全国広報広聴研究大会

スポーツや文化を生かした地域づくり ～創造都市・北九州市から

今秋のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年のワールドマスターズゲームズの開催を控え、各地でスポーツを生かした地域活性化の機運が高まっています。また、スポーツに限らず、その地域にゆかりのある文化・芸術を生かした地域活性化の取り組みも見られます。それぞれの地域で住民がスポーツや文化・芸術に親しむ場をつくるとともに、その取り組みを全国に発信することにより、さまざまな人が訪れたいくなるような地域づくりを考えます。

■プログラム 2019年6月7日(金)

9:30～10:15	日本広報協会定期総会	13:30～14:30	講演 スポーツによる地域活性化を考える 松橋 崇史 拓殖大学商学部准教授
10:00～10:30	大会受付		
10:30～11:30	開会式、表彰式 挨拶 日本広報協会会長 福岡県 北九州市 祝辞 内閣府 総務省 全国広報コンクール表彰 内閣総理大臣賞 総務大臣賞 日本広報協会会長賞 読売新聞社賞	14:40～15:20	事例発表1 ジャパンカップサイクルロードレースを生かした地域活性化 ～50年、100年と続く大会を目指して 栃木県宇都宮市
		15:30～16:10	事例発表2 文化芸術による創造都市を目指して ～東アジア文化都市2020北九州に向けて 福岡県北九州市
11:45～12:15	特選団体事例発表	16:10～16:15	閉会式

主催	公益社団法人日本広報協会、 福岡県、北九州市	後援	内閣府、総務省
協賛	全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本新聞協会、NHK、福岡県市長会、福岡県町村会		
開催日	2019年6月7日(金)		
全国広報広聴研究大会会場	北九州芸術劇場 中劇場 北九州市小倉北区室町1丁目1-11 ※北九州芸術劇場 JR西小倉駅から徒歩3分、JR小倉駅(南口)から徒歩10分 ※小倉リーセントホテル JR西小倉駅から徒歩3分、JR小倉駅(南口)から徒歩10分	日本広報協会 定期総会会場	小倉リーセントホテル 2階 玄海の間 北九州市小倉北区大門1丁目1番地17号
募集人数	200人		
参加費	会員 7,200円(税込み) 会員外 11,310円(税込み)		
支払い方法	参加証・請求書を受け取った後、セミナー当日までに指定口座にお振り込みください。		
問い合わせ・申し込み先	申し込み書に必要事項をご記入の上、ファクスでお申し込みください。 公益社団法人日本広報協会・事業部 電話：03-5367-1701 ファクス：03-5367-1706 申し込み書は、当協会ホームページからもダウンロードできます。▶ http://www.koho.or.jp/		



13:30 ~ 14:30

講演

スポーツによる地域活性化を考える

松橋 崇史 拓殖大学商学部准教授

スポーツは地域内外から人を集める力があります。トップリーグに所属するプロクラブの育成・支援やスポーツイベントの開催、サイクリングなどのツーリズムの推進、ライブステージや競技レベルに応じてスポーツを楽しめる場づくりなど、各地でスポーツによるまちづくりが行われています。このようなまちづくりを成功させるためには、地域住民やスポーツ関連団体・企業などとの協働が必要です。また、その取り組みを全国に発信しなければなりません。各地の事例や方法論を紹介しながら、スポーツによる地域活性化のあり方を考えます。

■プロフィール

松橋 崇史

1982年生まれ。2016年より現職に。専攻はスポーツマネジメント、スポーツ政策、ソーシャルイノベーション、スポーツによる地域活性化。このほか、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任准教授。共著に『スポーツまちづくりの教科書』『スポーツのちから』など。



14:40 ~ 15:20

事例発表 1

ジャパンカップサイクルロードレースを生かした地域活性化 ～ 50年、100年と続く大会を目指して

栃木県宇都宮市

自転車の国際大会「ジャパンカップサイクルロードレース」を四半世紀を超えて開催する宇都宮市。世界で活躍するトップ選手によるハイレベルなレースが繰り上げられる日本唯一の大会として、国内外から10万人以上の自転車ファンが観戦に訪れています。また、幅広い世代が楽しめるさまざまなイベントを展開するなど、「自転車のまち」としての裾野拡大にも積極的に取り組んでいます。



15:30 ~ 16:10

事例発表 2

文化芸術による創造都市を目指して ～東アジア文化都市 2020 北九州に向けて

福岡県北九州市

森鷗外、松本清張、林芙美子、松本零士、わたせせいぞうなど、多くの作家や漫画家のゆかりの地である北九州市。昨年8月には東アジア文化都市 2020 の開催地に選定されました。林芙美子文学賞や北九州市子どもノンフィクション文学賞などを設けて新たな文学の才能を発掘したり、文学講座や俳句・小説入門講座を開講して市民の文学への関心を高めたり、北九州市マンガミュージアムやフィルムコミッションを通じて「漫画の街」「映画の街」の魅力を発信したりと、市内内外に向けた文化・芸術の拠点としたまちづくりを展開しています。